

-2016年 狭山池築造1400年記念事業-  
日本最古のため池「狭山池」が創出した日本の第一次産業から1400年。  
水素発電による世界最先端の技術でCO<sub>2</sub>“ゼロ”の次世代まちづくり

## 世界初のグリーン水素シティ®の実現に向けた 「水素発電等事業会社」設立記者発表会 産官連携「グリーン水素シティ事業推進研究会」プロジェクト発表

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

大阪狭山市、メルシーfor SAYAMA株式会社及びグリーン水素シティ事業推進研究会は、2015年12月28日(月)「水素発電等事業会社」の設立、「グリーン水素シティ事業推進研究会」プロジェクト立ち上げに関する記者発表会を実施致しました。

「狭山池」は日本で初めての灌漑施設として築造されたため池です。「狭山池」が先駆的モデルとなり農業用灌漑システムが整備され、全国に普及していくことで、私たちの生活に大きな恩恵を与えてくれました。2016年には築造から1400年をという節目を迎え、「水」というキーワードで「水素」と「ため池」を有機的に結び付け、また脱炭素社会の構築に向け、「活用(地産地消)」、「利益(財源)」、「自立」を主たる目的に、水素を活用した電力発電・供給事業を行う「メルシーfor SAYAMA株式会社」を設立いたしました。

COP21では、化石燃料からの本格的な脱却を目指すことで合意され、世界的にも大きくCO<sub>2</sub>削減を行う方向性が明確に出されたことや、2016年4月には電力自由化を控えており、今後より一層のエネルギーへの関心を高めるため、大阪狭山市は再生可能エネルギーを活用した“化石燃料使用ゼロ”のグリーンな水素によるエネルギー供給により、次世代に引き継ぐことのできる新しいまちづくり「グリーン水素シティ®」の実現を目指します。

尚、本事業会社設立と共に株式会社ASC、コンコード インターナショナル インベストメンツ グループ エル・ピー、シナネン株式会社、清水建設株式会社、豊田TRIKE株式会社及び株式会社光通信など、日本を代表する企業各社と共に「グリーン水素シティ事業推進研究会」プロジェクトを立ち上げ、「グリーン水素シティ®」実現に向けた研究や実験を行い全国の先駆けとなるモデル事業の実施を目指します。

現在の予定されている主な事業としては、「水素発電事業及び電力貯蔵事業」、「再生可能エネルギー事業」、「市内全域を対象としたエネルギーマネジメントシステム事業の構築及びWi-Fi事業」、「水素自動車・水素バス事業」及び「公共公益施設の省エネルギー改修事業」等の実施を予定しており、今後、さらに最新技術を導入しながら様々な事業に取り組んでいく予定です。

敬具

【本件に関するお問い合わせ先】 メルシーfor SAYAMA PR事務局 (株)アンティル)  
担当:堀友・丑久保 TEL:03-5572-6063 FAX:03-6674-2730  
EMAIL: e-horimoto@vectorinc.co.jp(堀友) / y-ushikubo@vectorinc.co.jp(丑久保)

幹事:コンコード インターナショナル インベストメンツ グループ エル・ピー  
担当:日本副代表 稲葉桂一 TEL:03-5511-6633 FAX:03-5511-6600  
EMAIL: Keiichi.inaba@concordjp.com

## ◆メルシーfor SAYAMA(株)について

大阪狭山市のシンボルであり、市民の憩いの場となっている「狭山池」が2016年に築造から1400年を迎えます。

当時国家プロジェクトとして築造され、大阪平野に灌漑用水がいきわたり、第一次産業が生まれました。このプロジェクトは、「農民への恒久的な職の提供と広大な田畑の創出」を可能とし、1400年もの間、命の「水」として、現在も脈々と活用されています。

メルシーfor SAYAMA(株)は、狭山池築造1400年の節目に、これまで恩恵を受け続けてきた「水」をキーワードに、「水素」と「ため池」を有機的に結び付け、脱炭素社会の構築に向け、「活用(地産地消)」、「利益(財源)」、「自立」を主たる目的に、新しい施策として打ち出し、次世代に引き継ぐことのできる「グリーン水素シティ®」の実現を目的として、設立(平成27年11月19日)した、大阪狭山市100%出資の会社です。

## ◆グリーン水素シティ事業推進研究会について

再生可能エネルギー等を活用した、次世代の新しいまちを「グリーン水素シティ®」と名づけ、全国の先駆けとなる先駆的モデルを目指し、大阪狭山市、メルシーfor SAYAMA株式会社、株式会社ASC、、コンコードインターナショナル インベストメンツ グループ エル・ピー、シナネン株式会社、清水建設株式会社、豊田TRIKE株式会社及び株式会社光通信などを構成員として研究会を発足します。

研究会は、新しい技術の研究開発をはじめ、「水素発電事業及び電力貯蔵事業」、「再生可能エネルギー事業」、「市内全域を対象としたエネルギーマネジメントシステム事業の構築及びWi-Fi事業」、「水素自動車・水素バス事業」、「公共公益施設の省エネルギー改修事業」等の実施を予定しており、今後、さらに最新技術を導入しながら様々な事業に取り組み協創社会の構築を目指します。